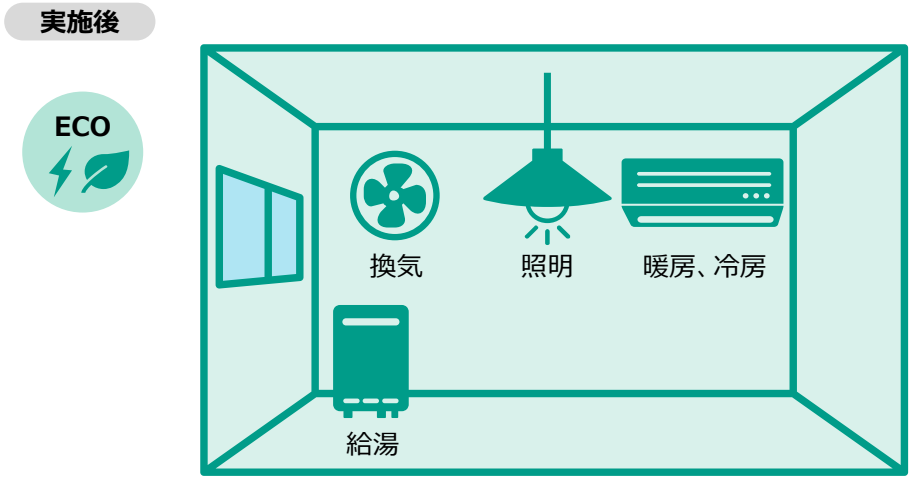
8.4 集合住宅の省CO_2化促進事業〈中高層ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業〉

⑥防災力向上と環境負荷軽減を実現する新築ZEHマンションの取組み

事業概要

事業者概要	事業者名	セキスイハイム東海株式会社
	業種	建設業／不動産
事業所	所在地	愛知県
	総延床面積	4048.05m^2
補助金額	補助金額	約3,090万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	なし
	導入設備	暖房、冷房、照明、換気、給湯
事業期間	稼働日	2024年2月
区分		新設
特長		新築ゼッチ・マンションの事例では、省エネルギー性能の高い暖房、冷房、照明、換気、給湯設備の新設によりCO_2削減に加えエネルギーコストの削減ができた。又、自治体のハザードマップを活用して水害リスクの少ない土地に建設計画を立案し、防災備蓄倉庫を建物内に設置することで、災害時に必要な備品を確保し防災力向上に寄与している。併せて、屋上緑化により環境負荷軽減に貢献している。

システム図



写真

空調設備



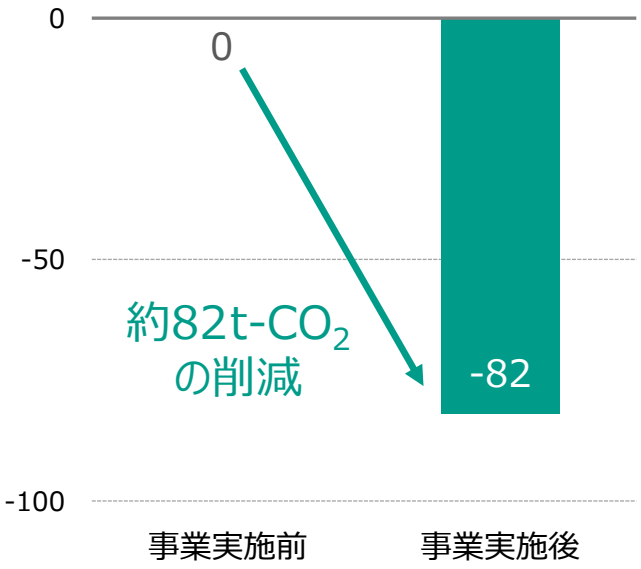
⑥防災力向上と環境負荷軽減を実現する新築ZEHマンションの取組み

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約715万円／年
投資回収年数	補助あり	－
	補助なし	－

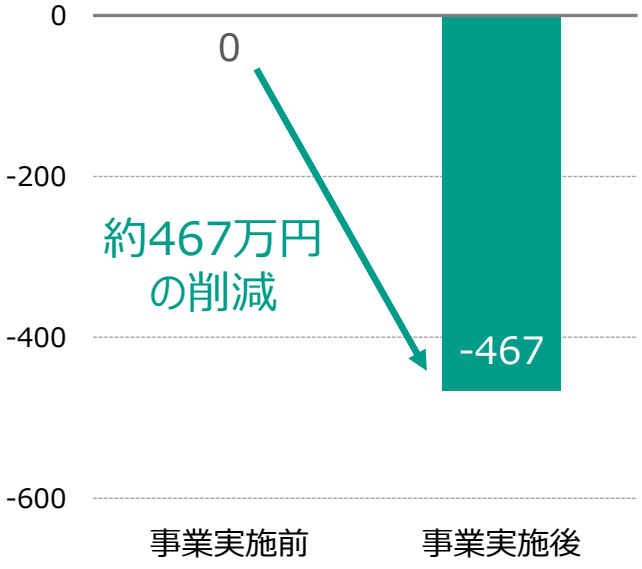
CO_2削減量	約125t-CO_2／年
CO_2削減コスト	8,000円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



省エネルギー性能の高い暖房、冷房、照明、換気、給湯の導入・活用により、電気消費によるCO_2排出量が年間約82トン削減できた。

エネルギーコスト（万円／年）



暖房、冷房、照明、換気、給湯の導入・活用により、光熱費が高くなる中で、年間エネルギーコストが約467万円削減できた。

【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：24.9円／kWh（出典：電気事業連合会HP）を用いて試算したものである。

⑥防災力向上と環境負荷軽減を実現する新築ZEHマンションの取組み

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ **「暖房、冷房、照明、換気、給湯設備の新設」によって、CO_2削減以外に、レジリエンスの対策強化とヒートアイランド現象緩和の副次的効果があった。**

- 自治体が公開するハザードマップを活用し、水害リスクの少ない土地に建設計画を立案した。
  さらに、建物内に防災備蓄倉庫を設け、災害時に必要な備品を確保することで、防災力向上を図っている。
- 屋上緑化を実施し、夏期の都市部における環境負荷軽減に貢献している。

災害対策の強化

実施後 ハザードマップを活用した建設計画、防災備蓄倉庫の設置により防災性能を向上させた。



水害の危険性が低い土地に建設計画を立案し、さらに、防災備蓄倉庫の設置により災害時用の備品を確保しているため、防災性能が向上した。

屋上緑化の実施

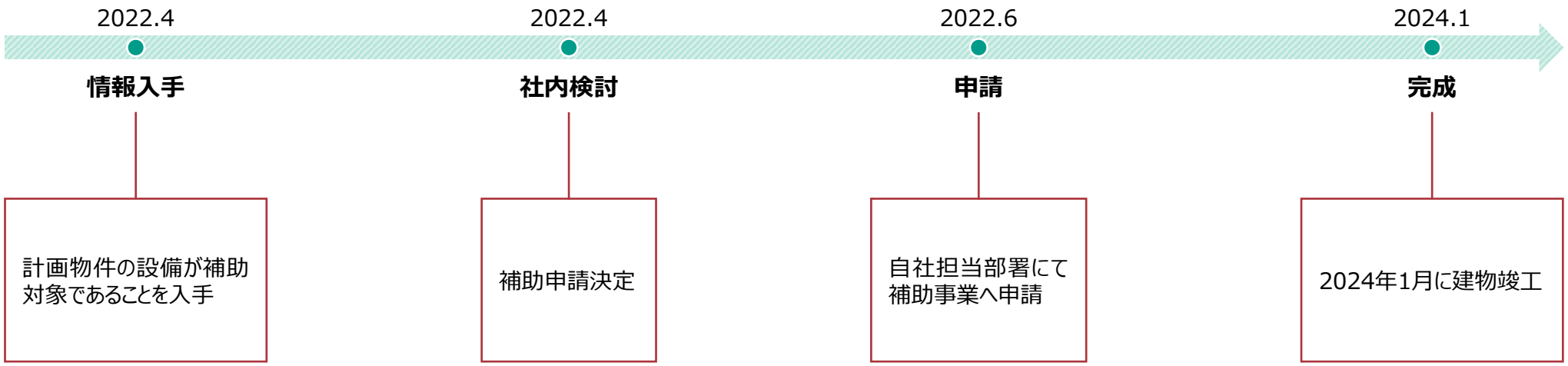
実施後 屋上緑化を実施し、環境負荷軽減に貢献している。



屋上緑化の実施により、環境負荷軽減につながった。

⑥防災力向上と環境負荷軽減を実現する新築ZEHマンションの取組み

事業の経緯／今後の予定



事業者の声

担当者
セキスイハイム東海株式会社

- 新築ゼッチ・マンションの建設において、近年の集中豪雨による水害を考慮し、自治体のハザードマップを活用して水害リスクの少ない土地を選定しました。
- 防災備蓄倉庫を建物内に設置することで、レジリエンスを高め、災害時の防災力が向上しました。